

### 3 チンゲンサイの作期別品種比較試験

#### 試験の目的

早春及び晩秋など、主に低温期における市内のチンゲンサイ栽培で長年にわたり使われていた品種“青美”が販売終了となりました。このため、“青美”に代わって当地の低温期に向く品種を模索するため、品種比較試験を行いました。

#### 関係先

旭川青果物生産出荷協議会チンゲン菜部会

#### 試験作期等

	作期 1	作期 2
播種	2月9日	9月5日
定植	3月2日	9月22日
栽植密度等	条間 15cm×株間 15cm=4,444 株/a(銀ネズ有孔マルチ使用), 雨よけハウス栽培, 2反復	

#### 供試品種

No.	品種名	販売元	No.	品種名	販売元
1	青美(標準)	サカタのタネ	7	福龍(フロン)	日本農林社
2	冬御前	カネコ種苗	8	緑龍(リュロン)	
3	武帝	サカタのタネ	9	冬賞味	武蔵野種苗園
4	SC8-120		10	冬大賞	
5	CRうらら	寺岡種苗園	11	遼東チンゲンサイ	渡辺採種場
6	STT-111		12	ニイハオ新1号	渡辺農事
			13	ニイハオ114	

#### 調査方法

##### (1) 調査項目







発芽良否, 定植時苗質, 生育日数, 規格別株数割合及び収量, 障害の発生状況, 草姿・葉形等の形質特性, 葉色, 作業性, (作期1のみ) 収穫後の黄変程度, 晩抽性

##### (2) 評価指標

低温伸長性, 葉色の濃さ, 収穫後の品質(黄変しにくい)といった特性を重視して, 各品種の評価を行いました。

#### 有望品種

作期1・2の試験結果から, 販売終了となった“青美”に代わり, 市内の低温期における栽培で有望と考えられる品種として, 次の3品種を御紹介します。

名称	冬大賞 (武蔵野種苗園)	SC8-120 (サカタのタネ)	緑龍(リュウロン) (日本農林社)
春の 写真			
秋の 写真			
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉色が濃い。</li> <li>・葉色が黄変しにくい。</li> <li>・晩抽性に優れる。</li> <li>・葉は大きな丸葉で、株は尻張りが強く、見た目が良い。</li> <li>・有望3品種の中では従前の基幹品種“青美”に最も形態が似て、“青美”になじんだ生産者は栽培しやすいと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉色が濃い。</li> <li>・特に春作は極めて濃い。</li> <li>・葉色が黄変しにくい。</li> <li>・生育の揃いが良い。</li> <li>・調製後の外葉4枚の葉長がほぼ揃い、バランスが良い。</li> <li>・葉は平滑で、ほとんどカップリングしない。</li> <li>・立性で収穫しやすく、寸胴型のため出荷袋へ詰めやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左の2品種にはやや劣るが、葉色は濃い。</li> <li>・葉色が黄変しにくい。</li> <li>・生育の揃いが良い。</li> <li>・立性で収穫しやすい。</li> <li>・葉はカップリングしにくい。</li> <li>・根こぶ病抵抗性(CR)を有する。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作期1(春作)の育苗時に、発芽揃いが劣った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“青美”とは形質的な特徴が大きく異なるため、収穫適期の判断等が栽培に慣れるまで難しい。</li> <li>・寸胴型の形質が、市場でどのように評価されるか不明な点がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“青美”とは形質的な特徴が異なるため、収穫適期の判断等が栽培に慣れるまで難しい。</li> <li>・作期1(春作)において、わき芽の発生がやや多かった。</li> </ul>
他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作期2(秋作)の育苗時には、特に問題が無かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月時点では、市販化されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作期2(秋作)では、わき芽の発生は無かった。</li> </ul>

※詳細なデータ、上記以外の品種の結果についてはお問い合わせください。